様式 3-2

公　開　文　書

研究課題名 （研究番号 722）	大腸癌治療症例における予後予測因子の検討
当院の研究 責任者（所属）	大徳　暢哉 （熊本市民病院　消化器外科）
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	大腸癌は我が国で罹患率が高く、近年は手術・化学療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療の進歩により、生存率が向上しています。治療法が多様化する中、患者ごとに最適な治療を提供するためには、長期予後を的確に予測することが重要です。近年、予後予測に関わる多くの因子が報告されていますが、十分に検証されたものは限られています。本研究では、当院で大腸癌に対して手術・化学療法・放射線療法を施行した症例を対象に、予後に関連する因子を後ろ向きに解析します。得られた知見は、術後合併症のフォローアップや補助療法の適応判断など、個別化治療の質向上に資することが期待されます。
調査データ 該当期間	2019 年 11 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで
研究の方法	2019 年 11 月以降に熊本市民病院にて大腸癌に対して治療を施行した症例を対象に、診療記録から得られる臨床病理学的因子や周術期データを後ろ向きに解析し、予後に関連する因子を検討します。
個人情報の 取扱い	匿名化されているもののうち、その記述単体で特定の研究対象者を直ちに判別できる記述等を全部取り除くような加工がなされているものを使用します。

本研究の資金源 （利益相反）	ありません
お問い合わせ先	熊本市民病院　消化器外科医員　大徳　暢哉 Tel:096-365-1711
備　　考	